

2023.06.23.迫害を乗り越える

ヨハネの黙示録 2 章 8 節から 11 節

JD ファラグ牧師

一緒に祈りませんか？ 天のお父様、今朝、あなたの御名を讃えます。主よ、私たちがここに来て交わり、互いに励まし合える場所があることを心から感謝します。主よ、あなたの御言葉が私たちに語られる場所でもあります。今朝、御言葉によって私たちを導き、案内くださいますか？ JD 牧師が「黙示録」の書を伝えます。主よ、今朝、JD 牧師に御力と語りを与えてくださいますか？ 私たちがそれを受け取れますように。イエスの御名によって、アーメン。アーメン、アーメン。

おはようございます。ようこそ。来てくださり嬉しいです。ご着席ください。オンラインで参加の方も同様に歓迎します。最初にお知らせしたいことがいくつかあります。まずはマック牧師からです。おお、これは最高に素晴らしい写真です。あれ、どうですか？ マック牧師：でしょ？ いいですね！でしょ？ 一拍手喝采— そう、これが求められ、望まれる反応です。主を褒め称えます。皆さんにお知らせしたいのは、来週の日曜日、午後 1 時、この聖域でレイモンドとレネーが、真に生ける神の御目のもとで結婚します。真に生きておられる神の御目のもと、私たちはそのことを心から感謝します。その後、フェローシップ・ホールでケーキカットのセレモニーをします。会衆の皆さんをご招待します。是非、そうしてください。私は留まってこの結婚に立ち会います。彼らは祝福され、私たちもその恩恵を受けます。そしてまた、しばらく独身だった人たちに希望を与えます。— (笑) — しかし、神は。でしょ？ (会衆：そうです！)

ですから、ご参加ください。主を褒め称えます。ありがとうございます。一拍手喝采—

マック牧師：おお！！ 時間のことを言い忘れました。JD 牧師：いやいや、私が伝えるって。マック牧師：いやいやいや。— (笑) — マック牧師：主の御心なら、来週の日曜日、マック牧師：私たちがここにいるなら！ JD 牧師：自分のネタを使ってよ！ — (笑) — おお、そうだ！ 最も重要なことは、JD 牧師が第二礼拝で 2 時間説教をしないならね。一拍手喝采 & 大爆笑— わお。どうなるか見みましょう。— (笑) — 祝典は午後 1 時に始まります。マック牧師が説明しようとしたことを、皆さんに、分かりやすく説明します。牧師が (第二礼拝を) 長引かせないことが前提です。ですから、1 時の始まりにあまり執着しないでください。— (笑) — よろしいですか？ いいですね。よし。本題に入る前に、もういくつかあります。一つ目、皆さんにお知らせしたいのは、今週の木曜日、27日は、クリス・デューク医師を迎え、『医師が語る真実』と題した対談をします。7 時ちょうどに始まります。オンラインの方、7 時 30 分からはありません。いつもは賛美が先あって、7 時 30 分から始まりますが、「ダニエル書」の聖書の学びはありません。午後 7 時の開始時間にご注意ください。こんにち医療業界で実際に起きていることを取り上げます。聖書預言通り、すべてがやがてどこへ向かうのか。多くの方がご存知の通り、クリス医師は、ここ地元の教会の一員で、私たちの家族で、奥様ローラと共に、私たち全員の教会の体へのとてつもない祝福です。それが今週の木曜日です。二つ目は、先週の木曜日、「ダニエル書」の節ごとの学びをしました。旧約聖書の中で聖書預言に関する最も包括的な章「ダニエル書 7 章」でした。(反キリストについての預言) その学びでの箇所は、ダニエルが見た幻で、全世界の王国の預言が記録されています。今、私たちがいるこんにち、既に舞台裏に健在する反キリストの預言です。それは間もなく、非常に近いうちに、イエス・キリストの栄光のうちに終わります。ですから、今日のこの礼拝に合致しているので、リンクを貼っておきます。先ほど第一礼拝、「聖書預言・アップデート」も、この第二礼拝、「ヨハネの黙示録」の節ごとの学びとも合致しています。ですから、それと共に、今日の箇所は「黙示録」2 章 8 節から 11 節で、スミルナにある教会への手紙です。可能であれば、ご起立いただき、ご無理なら、座ったままでも結構ですので、私が神の御言葉を朗読するのについてきてください。使徒ヨハネは聖霊に導かれ書くように言われます。8 節、

—ヨハネの黙示録 2：8—

また、スミルナにある教会の御使いに書き送れ。『初めであり終わりである方、死んでよみがえられた方が、こう言われる—。

—ヨハネの黙示録 2：9—

わたしは、あなたの苦難と貧しさを知っている。だが、あなたは富んでいるのだ。ユダヤ人だと自称しているが実はそうでない者たち、サタンの会衆である者たちから、ののしられていることも、わたしは知っている。

その節について話さねばなりません。

一ヨハネの黙示録 2：10ー

あなたが受けようとしている苦しみを、何も恐れることはない。見よ。悪魔は試すために、あなたがたのうちのだれかを牢に投げ込もうとしている。あなたがたは十日の間、苦難にあう。死に至るまで忠実でありなさい。そうすれば、わたしはあなたにいのちの冠を与える。

一ヨハネの黙示録 2：11ー

耳のある者は、御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。勝利を得る者は、決して第二の死によって害を受けることはない。』

ご一緒に祈りましょう。お父様、あなたの御言葉、こんにちの私たちへのこの御言葉を本当にありがとうございます。それが私たちの聖書に御言葉がある理由です。御言葉は私たちのためだからです。たとえそれが2000年近く前に書かれたものであっても。当時、彼らのために書かれたように、こんにちの私たちのために書かれました。それが私たちが今日ここにいる理由です。私たちはあなたが私たちの人生に、聖霊の静かな小さな精錬された、紛れもない御声で語られるのを聞きたいからです。私たちはあなたの羊として、羊飼いのあなたの御声分かるからです。ですから主よ、私たちがこの手紙を学ぶとき、どうかはっきりと語ってください。あなたがこの終わりの日、この学びからこの世の私たちの人生に適応させたいものを持ち帰らねばなりません。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。ご着席ください。ありがとうございます。私は私たち全員が知っていることを話したいのです。この終わりの日に、さまざまな形で、ますます増加していることに遭遇し、経験しています。さらに悪化しています。もちろん、私が言っているのはクリスチャンに対する迫害のことで、激化しています。この世は私たちの家ではありません。ただ通り過ぎるだけのこの世に、私たちは歓迎されずもう長居しています。今日の説教で私が成し遂げたいことはこうです。主を求め、思いを整え説教を準備するとき、私はいつも目的があります。私がいつも主に尋ねる目的は、主が私に向かわせられたい方向です。今日、私が望むのは、私自身を含め、私たち皆が、この先直面するであろう迫害の増加を舵取りをするため、実践的でより重要な聖書的方法を提供すること。私が知っていることを知っていてほしいのです。ここアメリカは、かなり良いのはわかります。世界の他の地域のキリストにある兄弟姉妹ほど迫害の杯を私たちは深く味わっていません。私たちが陥りがちな傾向として、このような断絶があるからです。クリスチャンの迫害について話すとき、ここハワイでさえ、本当に恵まれています。しかし、その箇所から自分を切り離し、権利を奪う傾向があります。私たちにとって異質だからと。これに共感するのは難しいですが、神が私たちに何を望んでおられるかに耳を傾けなければなりません。たとえそれが私たちにとって異質のようだとしても。その理由は、断言します。今から患難前携挙までの間、クリスチャンへの迫害は無限に悪化する可能性があります。今でさえ本当にそうで、すでに増加しているのを見始めています。何が急増しているのか？ 私が愛称するのは、「携挙前の迫害」です。患難前携挙ですが、携挙前に迫害が起こり、私たちはすでにこの杯を味わっています。悪化します。皆さんが気付いているかどうかかわかりませんが、世はクリスチャンに対する敵意を強めています。クリスチャンの私たちに非常に不親切です。さらに悪化していきます。私たちの前にある今日の箇所に入ります。短い手紙です。留意ください。説教が短いではありません。ー（笑）ー それを先に言っておきたかったのです。はっきりさせておきます。実は、告白せねばなりません。今日の学びを準備し始めたとき、すでにこれは短い手紙だとわかっていました。ですから、私はその箇所から豊かさを掘り起こし、それを教え、説教します。このことにのめり込み始め、ボン！ 次から次へと、、、 「主よ、止めてください！」わお、、、 ここには非常にたくさん詰まっています。7つの教会に宛てた7通の手紙の中でも、最も説得力のある手紙の1つであることは間違いありません。私たちは「迫害された教会」と呼びます。迫害されたスミルナの教会。私は、今日共にした時間の終わりには、教訓を持って、励まされてこの場を離れてほしいと願います。

「牧師さん、それが狙いなら、始まりは良くないですね。」説明します。この教会は、7つの教会の中で、叱

責も是正も戒めさえもなかったたった2つの教会のうちの1つです。それについて間違わないでください。この迫害された教会は、主の御目にかなう教会でした。彼らの多くの苦難と迫害の苦しみにもかかわらず、主は彼らが大変喜ばれました。「再び、牧師さん、どうそれが私を励ますのですか？」私たちが今から見るスミルナのように、私たちが砕かれているときこそ、主は私たちの一番近くにいてくださるからです。私たちは壊れたものを軽んじ、捨てようとする傾向がありますが、神は壊れたものを大切にされます。今日ここに、あるいはオンラインで見ている方で、打ちひしがれている方がおられるかもしれません。元気を出してください。それが、壊滅的迫害を経験していたスミルナの教会に宛てた手紙が私たちにある理由だからです。

さて、この都市、ひいてはこの都市の教会の裏話をする責務が私にはあると思います。まずは、全体像を把握するために、皆さん、この写真の地図に注目して欲しいと思います。スミルナは地理的に、エペソの約40マイル北にありましたが、霊的には何マイルも離れていたからです。私がこれを指摘するのは、この7つの教会の正確な順序です。独特に教会時代の年代を順番に表わします。こんにちの私たちは今、その時代の終わりにいます。それは最初の教会、エペソから始まり、そして、スミルナです。この表にも注目していただきたいのです。その理由はいくつかありますが、まず教会の歴史に関係します。お付き合いください。

3. 適応						
歴史的状況	名前の解釈	肯定的表現	是正勧告	永遠の動機	預言的啓示	個人的適応
エペソ 最初の教会	去る、離れる、 親愛、 初めの愛から	忍耐力、 識別力	初めの愛から 離れた、 (失ったのではない)	いのちの木 から食べる	西暦 70~170頃	思い出し、 悔い改め、 繰り返す
スミルナ 迫害	ミルラ(没薬)。 砕かれる時、 香りとなる	貧困、苦しみ の中で豊か	なし	いのちの冠を 受ける	西暦 170~312頃	砕かれた時、 より良くなる か、 苦くなるか
ペルガモン サタンの王座	倒錯/姦淫の 結婚と結合	真実のまま、 放棄せず	性的姦淫/ 霊的姦淫、 偶像崇拜	隠されたマナ と新しい名前	西暦 312~606頃	世と一緒にでは 清くない
ティアティラ イゼベルの 教理	継続的な犠牲	愛 信仰 奉仕 忍耐	欺瞞に満ちた 誘導的教えを 容認している	諸国民に 対する権威	西暦 606頃~ 終わりまで	生きた犠牲の 代価によって 買い取られた
サルディス 栄光に甘んじる	揺るぎない残り 少ない	勤労、 良い名前	手遅れになる 前に眼を覚ま しなさい	白い衣を纏 い、いのちの 書に名を記さ れる	西暦 1520頃~ 終わり	夜中の盗人を見 張る
フィラデルフィア 2人の兄弟が 建てた	兄弟愛	神の御言葉/ 御名を守る/ 少しばかりの 強さ	なし	7年の患難か ら守られる	西暦 1750頃~ 終わり	互いの愛によ って弟子であ ることが分か る
ラオデキア 生ぬるい	教会を支配 する俗人信徒	なし	金持ちだが貧 しく、見えるの に盲目、服を 着ていても裸	イエスと共に 座に着く	西暦 1900頃~ 終わり	イエスに対し て熱いか 冷たいか

迫害されたスミルナの教会は、歴史的にキリストにある兄弟姉妹約500万人の殉教を目にしました。これは西暦313年以降も続きました。西暦313年に何が起こったか？ コンスタンティヌスは宗教寛容令を発し、事実上キリスト教を公認しました。わかりますか？ 以前はキリスト教徒であることは犯罪だったからです。法律違反でした。あなたがキリストに辿り着き、神の御霊によって新生したなら、この時代、あなたは拷問され、迫害され、死刑になりました。彼らはそうでした。因みに、コンスタンティヌスはこれから登場し、来週、彼に会います。来週、来ないといけません。コンスタンティヌスに来週会います。彼は基本的

に、ペルガモン教会への手紙で登場します。彼は歪められた結婚をしました。ペル/変質 ガモス/婚姻

ガミ/墮落した ポリガミ/一夫多妻制 モノガミ/一夫一妻制 彼は教会と国を結合させ、国の教会という腐敗の倒錯をもたらしました。今や、それは合法となった。サタンは気付いたからです。

よみの門も教会に打ち勝つことはできません。(マタイ 16:18 参照)

勝てないなら、仲間になればいい。で、サタンはそうしました。彼らは汚れた婚姻で結ばれました。それが来週です。いらっしゃって、コンスタンティヌスに会ってください。コンスタンティヌスはゲスト・スピーカーではありませんけど、学びに深く関わります。なぜこれを詳しく説明するのか？ 理由は、その時までは、クリスチャンだったら、

1 目：クビです。斬首。

2 目：彼らはあなたの持ち物をすべて取り上げ、財産をすべて没収、今やそれは国家のもの。あなたがクリスチャンなら、こんにちで言うところの絶望的な貧困の中に生きます。これが 2 目の理由です。この表に注目してほしいのです。迫害、特にそれがどのようなものであるか、迫害に関して、私たち各々への個人的な適応に関係するからです。私と一緒に考えてほしいのです。試練、苦難、迫害、苦悩が、私たちの信仰を成長させ繁栄させます。逆境は繁栄をもたらします。その逆も然りで、繁栄は逆境をもたらします。私が主との歩みで学んだことの 1 つは、繁栄は逆境よりも扱いにくいこと。逆境にある時、あなたは主に頼っているからです。繁栄の時を過ごしていると、主から距離を置きがちになります。「伝道者の書」7 章 14 節です。これを書き留めたいかもしれませんが、今ではありません。まだ説教を続けているからね。が、この聖句を参照されたいかもしれません。ソロモンがこれを書きます。「繁栄の時は、楽しめ。良い時は、主を褒め称えよ。・・・しかし、逆境に見舞われたとき、そのように言ってなかったらいいのに。ソロモンがこう言っていたらいいのに。もしも、偶然、可能性、非常に小さい可能性だけど、逆境を経験する可能性があるなら。と。違います。見舞われるその時。・・・逆境に見舞われる時、立ち止まって考えよ。」

神がどちらも許しておられることに気づいて下さい。いくつかの翻訳ではこう表現されています。神は順境と逆境を並べられ、神は繁栄とともに逆境をもたらされます。なぜか？「後のことを人に分からせないためである。」(伝道者 7:14)

翻訳：繁栄の間、安住しすぎないために。逆境がすぐそこまで来ているかもしれないから。逆境に陥った時、それはすぐその先であって、それが私たちが主を呼び求める時です。さあ、正直になりましょう。繁栄(順境)の時、あなたの祈りの生活はどうですか？ 主よ、ありがとうございます。主よ、あなたを祝福します。あれを、これを祝福してください。イエスの御名によって、アーメン。繁栄の時の祈り。逆境の祈りは、「おお、神よ！おお、主イエスよ！おお、神よ！」「おお、今、わたしはあなたの注意を引きましたね。あなたの注目を引くのに逆境が必要でした。」クリスチャンは、、、注意して言わないといけません。言い直します。言い換えではありません。ですから、この方法で言います。繁栄は、クリスチャンを本当に混乱させ得ると思います。どのように対処していいかわからないからです。神はそれをご存知です。「第一コリント人への手紙」10 章 13 節を引用します。私たちの今日の学びにすぐ入りますから。が、「第一コリント人への手紙」10 章 13 節、引用します。本当は言い換えで、実際、引用ではないけれど

「神はあなたが対処できる以上のことは与えられません。」

それをあなたに言う人と仲良くなるのは難しくないですか？ 彼らは大丈夫ですけど、あなたは試練を経験しています。「神はあなたが対処できないことは与えられないよ。」— (笑) — その文脈で考えたことがありますか？ そう、神は私が対処できない逆境はお与えになりません。神は私たちが対処できない誘惑をお許しにならないからです。しかし、誘惑と共に、神は脱出の道を用意してくださいます。ですから、私たちはその下で耐えることができる。それが「第一コリント人への手紙」10 章 13 節です。それが言い換えする理由です。神はあなたが対処できないことはお与えにならない。聞いてください。原語では試練と誘惑は同義語です。言い換えると、私たちはいつも、神はあなたが対処できない逆境をお与えにならないという観点から言い表されます。神は私たち各々が違うことをご存知です。そのポイントがあるところを、神は正確にご存知です。主は、あなたが対処できない誘惑をお許しになりません。さもないと、神は私たちの不従順

の当事者となられるから。ですから、神はなさらないではなく、神にはおできにならないのです。それは神というお方と矛盾するからですが、あなたがそれを繁栄という観点から考えると、神は、あなたが対処できない繁栄をお与えになりません。ここで私たちは祈ります。

「神よ、新しいメルセデスベンツをください。」神はその祈りに応えてくださいません。なぜか？ 理由は、良くないからです。あなたを混乱させます。うん、でも、ベンツで皆を教会に連れて行くんだ。ー（笑）ー

おお、共感しましたか？ 神をだますようなものだから。お願いして受け入れられないのは、間違った動機でお願いするからです。「もちろん、あなたがわたしにそれを求める理由はわかっていますよ。ダメ！あなたには与えません。因みに、あなたはわたしにその祈りに答えてほしくないはずですよ。それはあなたのためにならないし、わたしに栄光がもたらされることはありません。ですから、ダメです。あなたは手に入れられません。ユーゴを与えましょう。」ユーゴを覚えていますか？ ー（笑）ー 時代遅れでした。ユーゴは、イケてません。も一、作ってさえいませ。も一。OK。すでに進行中の説教に戻ります。ここで私がはっきりさせたいポイントがあったからです。これらの試練、苦難、苦悩は、苦いか良いかのどちらかの傾向があります。よく言われますが、いい比較だと思います。同じ太陽でも、溶かしたり、硬くしたりします。それがこんにちの私たちにとって重要だと思います。人生にぶち当たったとき、人生は、ぶち当たります。神は私たちの意志を侵害されません。神は私たちに自由意志を与えておられます。それは私たちの選択で、私たちが決断せねばなりません。私の人生にこれが起こり、神がこれが起こるのを許されておられるので、私たちは苦くなるのか？ それとも、より良くなるのか？ スミルナ教会は、迫害の故に、より良くなりました。

「教会を成長させれば、教会を迫害しなさい。」とも言われています。エルサレムの初代教会では、、、私たちはいつもこう言います。「私たちは初代教会のようになる必要がある。」そんな急がずに。彼らは多くの問題がありました。それほど時間はかかりませんでした。すぐここでわかります。先週は、パウロが教会を始めてから 35 年後のエペソを見ました。彼らはすでに混乱していました。長い時間はかかりませんでした。彼らは初代教会でした。実際、これらの手紙のいくつかは、本当に、初代教会のようにならないようにとあります。初代教会で起こったことが原因だからです。「使徒の働き」に、初代教会について詳しい記述があります。私が言わねばならないのは、彼らはエルサレムに留まりただけで、父と子と聖霊の御名によって弟子を作るために、ユダヤ、サマリア、そして地の果てまで行きなさいという大宣教命令を聞き入れませんでした。彼らは全員エルサレムに寄り集まりました。で、神がされたのは彼らをそこから外に出し、広げるために何をされるのか？ 神は迫害を許され、それが彼らを分散させました。素晴らしい例えがあります。これは私ではありません。あなたがそれを気に入ったら、それは他の誰かの例えですから。気に入らないのなら、それは私が言ったことでじゃありません。ー（笑）ー

「クリスチャンは肥やしのようなだ。」いいえ、待ってください。「まとまっていると臭く、しかし、それが広がると肥料になる。」ー（笑）ー 恐ろしい言葉による生き生きとした描写です。それは真実ではないですか？ これが理由で、人々が共同体について語る時、、、共同体があれば素晴らしくありませんか？ 共同体があれば。ちなみに、彼らは 70 年代にそれを試しました。良い結果にはなりません。お知らせしておきます。「おお、島でクリスチャンとだけ一緒だなんて。」その当時なら殺し合いになっていたでしょう。最初の 1 カ月で。ー（笑）ー そして、神はそうするために私たちを召されたのではあられません。神はあらゆる国で弟子を作り、広げ、伝道し、肥やしにするため私たちを召されました。ただ寄り集まっただけではいけません。そうすると臭くなります。これ以上は、話したいけど話しません。説教しないとね。ですから、再度、私も含め、私たち全員を、旅にお連れするために、私たちは神の御言葉から、迫害を乗り越える方法がわかります。さらに、もう一步踏み込みたいのが、迫害を抱きしめること。ちょっと難しいかもしれませんが、私たちは迫害を避け得るあらゆることに慣らされています。実際に、迫害は、起こり得る最高のことかもしれないのに。お許しただけなら、7つの方法を話したいのです。先週、私は 3 点説教をしました。悔い改めて、今週は 7 つです。そこで、迫害を乗り越えるための 7 つの方法、再び実践的で聖書的な方法です。同時に、今後さらに悪化する可能性があります。ですから、以下は、7 つの方法で、スミルナの時代がそうであったように、私たちの時代も終わりの日に急接近しています。1 つ目は、8 節の前半で述べました。大げさかもしれませんが、

1) 「迫害は実は良いことになり得る。」

長年、主との歩みの中で、私に役立つ判断基準は、自分自身に問いかけ、こう答えることでした。これ、それ、それら、_____、何でも空欄を埋めてください。この娯楽、この趣味、このレクリエーション、この人間関係、この_____空欄を埋めてください。それは私を主に近付けるのか、それとも主から遠ざけるのか？ 迫害は、主と密になるため大変必要な効果があります。イエスがあなたの全てである時、イエスがあなたに必要な全てだと気付くからです。しかし、豊かで繁栄している時には、その必要がない。再び、それは私たちの祈りの生活に現れます。大学生の子供のようです。パパとママに電話するのは、必要なものがあるときだけ。おお、私たちは天の御父にそのようです。私たちが祈るのは、何かが必要なときだけです。それが神に通じないとは思わないでください。神はよくご存知です。神はご存知です。：「おお、JD がわたしを呼ぶ時は、何か必要なことがあるときだけだ。しばらく JD から連絡がなくて寂しいので、再度、彼の声を聞くために、彼の人生に必要な性を許そう。彼は（わたしを）呼ぶ。彼は（わたしを）呼ぶ。」ボン！ 逆境が襲います。「おお、神よ！」「やあ、ずっと待っていましたよ。」分かっています。迫害が、実は良いことになり得ると言う、人々を不快にさせます。しかしながら、聖書の記述に繰り返されるのは、教会への迫害が、最後に何を教会にもたらしたか。再び「使徒の働き」を読むと、神がどうなさったかの記述で、神に感謝します。それは私の働きではありません。教会の成長。ハッ！ そこに私に置いたのはあなたです。私が教会を宣伝をし始めないといけないの？ 正面に横断幕を出したり、「聖書預言・アップデート」1時間半後に iPad の無料配布し始める？ 教会に人を集めたいから。ああ、すみませんが、救われるべき人々を教会に加えられるのは主です。それを牧師に押し付けるなら、この事態に陥った牧師は気の毒だし、多くの牧師がこの事態に陥っています。ほとんどがそうだと言いたいです。牧師の仕事内容に、教会を成長させることがあるなら？(大きな溜息で JD 消える) ごめんなさい。さようなら。私にかかっているの？ それは大きなプレッシャーです。違います。そう、最初に祈るとき、私は時にこう祈ります。「主よ、聖霊によって私たちの注意を引きつけ、注意を引きつけられたら、私たちの心が迷いませんように。」大変感謝します。それが私の仕事でないことに。「彼らの注意を引き付け、注意を保たねばならない。」速く、動き続け、流行りで、イカしてるぜー(笑)ー 今の、かなりうまかったでしょ？ うま過ぎかも。主よ、感謝します。いえ、それは私の責任ではありません。私がすべき全ては、忠実に御言葉を宣べ伝えること。会衆：アーメン！

羊を養うこと。おお、仕事内容：皆さん、仕事内容ありますか？ 少なくとも1ページくらいですか？ 私には一文だけ。「御言葉を宣べ伝えること」「群れを養うこと」「ペテロよ、わたしを愛していますか？」
「はい。」「わたしの羊を養いなさい。」(ヨハネ 21：17参照)

「それだけ?」

はい。御言葉を宣べ伝えること。「それだけ?」はい。教会の成長については？ いいえ、(聖書) ここにはありません。(聖書) ここにはありません。主は「使徒の働き」の中でそう述べておられます。「それだけですか?」はい、あとはわたしが引き受けます。「わかりました。」ただ忠実に、時が良くても、悪くても、御言葉を宣べ伝えなさい。(II テモテ 4：2)

わたしの羊が飢え死にするからです。栄養を与え、養う必要があります。わたしを愛しているなら、彼らを養い、神の全ご計画を教えるのに忠実でありなさい。でないとなあなたに彼らの血の責任が問われます。」ですから、それがここで私がすることです。毎週そうやってここにいます。ですから、、、ー(笑)ー

この迫害について話しましょう。これについて話さねばなりません。私たちは戦うからです。それが正に私たちの必要であるにもかかわらず、私たちはそれを避けるためにあらゆることをします。スミルナはその見本です。説明します。

スミルナという名：覚えていますか。名は本質を表します。これはミルラ(没薬)という言葉に由来し、遺体を防腐処理するために使われ、死に関連します。実際、アリマタヤのヨセフは裕福で、救い主のために墓を捧げました。キリストの遺体を没薬で防腐処理しました。死に関連します。思い出してください。贈り物、、、私はいつも皆さんのクリスマスを手無しにしまけど、東方から来た賢者は3人だけだと皆さんは思っているからです。実は側近がいました。みんな、、、(話が)似てもいけませんから、学びましょう。キリスト降誕のシーンは？ 私は自分ののは出しません。間違っているからです。まず、彼らはイエスが生まれたときの飼料桶に行ったんじゃないやありません。彼らはイエスが幼児になってから、その家に行きました。私はあなたを混乱させましたか？ー(笑)ー 早めにメリー・クリスマス。ー(笑)ー それで彼らはイエスに持

ってきたのは、、、彼らが持ってきた贈り物を覚えていますか？ 乳香の小瓶を想像してはいけません。おお、これは没薬、これは黄金。いいえ、まず第一に、黄金は財政的提供でした。しかし、これら3つの贈り物はすべて、イエスの神性、王族性、そして究極的にイエスの十字架上の死の残酷さを物語ります。没薬はその贈り物の1つでした。何が興味深いかというと、預言者イザヤは、王国時代、千年王国の贈り物について言及しています。黄金と乳香は含まれますが、没薬は含まれません。なぜか？ イエスはすでに十字架で死なれました。で、没薬とは何か？ ハーブです。没薬は死を指すだけでなく、苦いハーブでもあります。イエスは口が渴いて、ヒソプの枝を唇に当て水を飲まれました。イエスは「私は渴く」と仰ったからです。（ヨハネ 19：28参照）イエスは渴きで死にそうでした。文字通り、死を指します。ですから興味深いハーブです。苦いのです。苦いのです。でも、それを砕くと、素晴らしい香りを放ちます。素晴らしい香りを。しかし、砕かねばなりません。その香りを放つために。これ、分かりますか？ 苦さから良い香りへ。思い出してください。イスラエルの民が、つまり、3日、、、紅海を渡って3日後くらいだったと思います。

奇跡。疑う余地のない奇跡。彼らは、、、それについては触れませんが、すでにご存知ですね。エジプトには十分な墓がないから、神が自分たちを殺すために連れてきたのかと言います。神は紅海を分け、彼らは乾いた地を歩き、神はエジプト人を引きつけて溺れさせ、殺されました。それから、彼らは反対側で賛美します。ある人が言ったように、間違っただけの正しい賛美。3日が過ぎ、彼らはマラという場所にきました。彼らは喉が渇きます。どれだけ喉が渇いているかを知らせるため、文句を言い始めます。

「十分な墓はなかったから、神は私たちにここに連れて来られたのか。」（出エジプト 14:11）

水はあるが、苦い。そこでモーセが、その苦い水に木片（十字架の描写）を入れるように語られたのは、その苦い水を甘くするためです。そうすれば民は飲める。（出エジプト 15参照）

それがその類型です。没薬（ミルラ）も砕いた時そうなります。迫害され、潰された時だけ、苦難と苦しみがある時、そのとき初めて、没薬（ミルラ）は素晴らしい香りを放つ。素晴らしい香りだけではなく、砕かれ、迫害を乗り越えてもたらされる豊かさの祝福でもあります。何ですって？ 彼らは財産をすべて没収されました。彼らはひどい貧困にあえいでいました。で、あなたは豊かさについて話しているのですか？ どこでそれを手に入れたのですか？ おお、イエスがそう仰いました。

「わたしは、あなたの苦しみ、苦難、迫害、試練、患難、貧しさを知っています。しかし、豊かです。」

はっは！ほうー！ あなたがたは、ここで信託基金を手に入れたんだぞ。しかし、そう、それは世のこと、世の基準です。私たちはどこで..... あ〜 言うのは簡単です。繁栄の定義に関して、私たちは大変混乱しています。私たちは常に、物質的な面と金銭的な面でそれを考えます。そうすることは大きな間違いを犯すこととなります。例：「ローマ人への手紙」8章28節、非常に有名な聖句であり、素晴らしい約束です。

ーローマ 8：28ー

神を愛する人たち、すなわち、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを、私たちは知っています。

OK。ちょっと待ってください。私たちの解釈はこうです。「神はここから良いことを引き出そうとしておられる。だから、神はもっと良い仕事を与えてくださる。」ー（笑）ー

もう一度言ってみます。神がその試練から働きかけてくださる益を、私たちは物質的、金銭的なものに定義します。ちょっと待ってください。神があなたの置かれている状況から働きかけられようとしている益が、あなたをよりイエスに似たものにされるならどうですか？ 柔和さ。それは良くないですか？ おお、いいえ、私はあなたが話しているのは他の「益」だと思っていました。それがあなたが考える「益」です。それはわたしの「益」の定義とは違います。「ローマ人への手紙」8章29節は、「ローマ人への手紙」8章28節の「益」とは何かを定義します。神の目的に従って召された者は、イエスに似たものになり、イエス・キリストの似姿に形作られます。それはどういう意味ですか？ あなたの人生で逆境から神がもたらす益は、あなたをより愛に溢れさせ、喜びで満たし、親切、善意、柔和にし、に、に、に、忍耐、もっと自制を持たせる。聖霊の支配のもとで生きる人生を。おお、はい、あなたが思ったのは、「違います。JD、あなたは間違っています。」あなたは、昇給することが良いことだと考えていました。あなたのボスが新しく変わるとか。今

のあなたのボスは反キリストだからです。ー（笑）ー

「いいえ、それはわたしの意味することではありません。わたしはそれを益のために働かせます。しかし、何をもって「益」とするのか、あなたは、再定義する必要があります。あなたの「益」の定義はわたしの「益」の定義と相容れないからです。」それはゲームチェンジャー/一変ですね？ 自分の苦悩や苦しみ、迫害をそのレンズを通して見ると、それが全体の様相を変えます。

「おお、主よ、あなたは、、、私は、今、迫害がなぜ良いこと/益なのか分かりました。苦悩は良いこと/益になり得るのかが。砕かれることは良いこと/益になり得る。おお、主よ、あなたの御前で、これはどんなに芳しいことでしょうか。壊され砕かれる迫害の前は、どんなに苦いことでしょうか。」

興味深い留意は、その象徴的な証拠。スミルナは、7つの教会があった7つの都市の中で、唯一、今も存在する都市だご存知ですか？ 写真をお見せしてもいいですか？あなたの心を揺さぶります。現代のトルコの都市イズミルです。2つの湾。カイルアじゃないですか？ カイ（海）が2つ。ルアはわかります。知っています。わかります。ー（笑）ー 多くの人に脇に呼ばれこう言われました。「カイルアの意味は何かご存知ですか？」「いいえ、何ですか？」2つの「ルア」という意味です。「ルア」は何かご存知ですか？それが私が彼らを止めるべき時です。理由は、、、2つの湾です。それがこんにちのイズミルにあるものです。繁栄し、人口が増え、富んでいる大都市です。唯一です。エペソに行くと、見るのは廢墟だけです。他の7都市のいずれかに行ってください。それらの教会や都市で目にするのは廢墟ばかりですけど、スミルナ（現在のイズミル）に行くと、ほ〜こう呼ばれます。これが正しいことを願います。「小アジアのパリ。」美しい、つまり息をのむほどです。水の色を見てください。それは、、、あなたが何も知らなければ、私はそれをトリミングし、フォトショップで加工し、こう言います。「見てください。カイルアです。」違います。スミルナです。「牧師さん、何が言いたいんですか？」神だけがおできになるように、苦しみと迫害の灰から美をもたらされます。実際、神の御国に入るためには、苦しみや苦難を経験せねばなりません。行いのことではなく、世のことです。その意味は、神は私達がこの世を握りしめるのを緩め、私達を次へと準備をされ、神はそうするために患難と苦難と迫害を選ばれました。「使徒の働き」14章21節から22節、パウロが語ったことを聞いてください。あまり人気のない聖句です。このイントロはどうです？

一使徒 14：21ー

二人はこの町で福音を宣べ伝え、多くの人々を弟子としてから、リステラ、イコニオン、アンティオキアへと引き返して、

一使徒 14：22ー

弟子たちの心を強め、信仰にしっかりとどまるように勧めて、・・・

わお。パウロとバルナバは弟子たちを励ましていました。何と言って励ましたのですか？

・・・「私たちは、神の国に入るために、多くの苦しみを経なければならぬ」と語った。

ー（笑）ーそれが私を励ます？ どうやってそれに和解しますか？ いえ、あなたは、、、ここの世が大変であればあるほど、あそこの天に行きたくなります。ここの世が良くなればなるほど、あそこの天に行きたくなくなります。ですから、この滅びゆく世を手放すためには、苦難を経験せねばなりません。次に入るために。つながりましたか？ だから元気を出してください。私がパウロなら、こう言います。「神の御国に入るためには、多くの苦難を経験せねばなりません。ごきげんよう。じゃあね。」

苦難を意味するギリシャ語の原語に注目して欲しいのです。ギリシャ語の単語「スリプシス」です。「わお、牧師さん、大変参考になります。本当にありがとうございます。」いえ、しかしこれは面白い単語です。この言葉には、押し潰されるような圧力と拷問のイメージがあります。これが彼らのすること。彼らは大きくて重い木の塊、板、岩を手に取り、拷問する人の胸の上に置きました。息を吸い込むと、その重さで押しつぶされそうになり、次の呼吸ができなくなりました。それが彼らが死んだ過酷な死に方です。あの押しつぶす、、、試練に打ちひしがれているとき、あなたはただ、、、息を呑むかのように、今、私はこれを教え喘ぎ始めています。これらは人生の試練や苦悩ですが、それらはあなたを没薬に、苦味を甘い香りに変えます。

押し潰されるような圧力（スリプシス）を経験せねばなりません。「第二テモテへの手紙」3章12節はいかがですか？ 実際、悪くなります。

ーII テモテ 3 : 1 2ー

キリスト・イエスにあって敬虔に生きようと願う者はみな、迫害を受けます。

私たちの誰1人いません。私もです。正直に告白します。この聖句は壁にも壁紙にもしません。これは私にとって人生の一節ではありません。私たちは皆、このことを避けたり、軽視したり、疑問に思ったりします。時に、質問は、「私は迫害されていないけど？」あなたは敬虔な生き方をしていないのかもしれない。

「牧師さん、おお、ちょっと待ってください。マジ、いい加減にしてください。あなたは私を励ますはずが、傷つけています。私の敬虔な生き方に比例して、私の人生への迫害も大きくなるということですか？」

はい。ちょっといいですか？ ええ、言います。私はそれを言うとき、あなたと同じように、あなたとともに、罪の示しがあります。誰かと一緒にいて、福音を恥じるとき、なぜだかわかりますか？ 主が福音を伝える機会を与えてくださるのに、イエスを誰かに伝えるのをためらうのは、友だち解除され/迫害され/嫌われ/二度と電話がなくなることを恐れるからです。逆に、敬虔に生き、福音を恥じない者は、唾を吐かれることとなります。最も下劣な名で呼ばれるでしょう。ソーシャル・メディアにあなたのことが投稿されます。受けるのは、想像し得る限り最悪な偽りの告発です。それを個人的に受け取らないでください。言うは易く行うは難し、ですね？ 個人的に受け取るなって？ 個人的に受け取るな？ イエスは何と仰いましたか？祝福を受けなさい。なんという祝福でしょう。迫害され、悪口を言われ、ソーシャルメディアに悪口を書き込まれる時。ご存知、あなたは祝福されます。もしあなたが、、、私は違います！ それは私を祝福しません！ どうすれば祝福されるのですか？ 理由は、「わたしの苦しみと迫害を共にするからです。」イエスは弟子たちに仰いました。聞きなさい。個人的に受け取らないでください。「彼らはあなたの根性を嫌います。なぜか？ わたしとの結び付きゆえです。」私たちがイエスと結び付き、主の御目に喜ばれる敬虔な生活を送れば送るほど、迫害されます。それは比例します。

2つ目。先に進まないで。留意ください。

2) 「たとえ迫害の結果、死に至ったとしても、それが最終決定権ではない。」

8節の後半、もう少し早く進みます。しかし、ここでヨハネが、聖霊に導かれ書くのは、これらがイエスの言葉であり、イエスがどういうお方で、イエスが何をされたか。再度、これは各々の教会に独特です。この教会へイエスは語られます。

「わたしはアルファであり、オメガである。最初であり最後である。」(黙示録 22 : 13)

「わたしは死んだが生きている。死に置かれたことがある。」これがイエスが死に打ち勝ったことを強調される理由です。「わたしは、永遠のいのちの贈り物をあなたたちに与えるために、あなたたちの代わりに死にました。恐れてはいけません。」先走りすぎています。

「マタイの福音書」10章28節、イエスが語られます。

ーマタイ 10 : 2 8ー

からだを殺しても、たましいを殺せない者たちを恐れてはいけません。むしろ、たましいもからだもゲヘナで滅ぼすことができる方を恐れなさい。

聞いてください。殉教者。「肉体を殺すことはできても、あなたがしていることは、私を主のもとに帰すこと。なぜそんなに時間がかかるのか？ さあ、始めましょう。」

それはすぐにわかります。「第一コリント人への手紙」15章、51節から55節を読みたいのです。なぜこれが患難前携挙の箇所なのかがわかります。御霊によってパウロが語ります。

ーI コリント 15 : 5 1ー

聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。私たちはみな眠るわけではありませんが、みな変えられます。

—I コリント 15 : 52—

終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうち（瞬きではなく）に変えられます。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです。

—I コリント 15 : 53—

この朽ちるべきもの（私たちの体）が、朽ちないものを必ず着ることになり、この死ぬべきものが、死なないものを必ず着ることになるからです。

—I コリント 15 : 54—

そして、この朽ちるべきものが朽ちないものを着て、（新しい体を手に入れた時。待ちきれません。）この死ぬべきものが死なないものを着るとき、このように記されたみことばが実現します。・・・

パウロは聖句を引用し、死をあざけります。

・・・「死は勝利に呑みこまれた。」（I コリント 15 : 54 参照）

パウロは死を擬人化したように書きます。

—I コリント 15 : 55—

死よ、おまえの勝利はどこにあるのか。死よ、おまえのとげはどこにあるのか。

お前は敗北した敵だ！ スミルナよ、元気を出しなさい。死に至ったとしても、迫害に押しつぶされそうなのは分かります。何百万人も殺され、殉教者がいることは知っています。しかし、わたしは死に打ち勝ちました。死のとげはありません。死を恐れてはいけません。私は叫んでいますか？ —（笑）—

3 つ目：9 節の前半、これについては話しました。これについて話しましたね？ しかし、私たちはこのことを忘れました。私たちはこれを思い出す必要があります。

3) 「私たちの信仰は逆説である。」

矛盾です。どういう意味かわかりますか？「巨大なエビ」の例をご存知ですか？先週、話したのはわかります。「マイクロソフトは役に立つ。」矛盾です。並列された逆説。当時のクリスチャンたちについてが、一読ただけで簡単にわからないので皮肉です。彼らはみんな奴隷です。財産はすべて奪われました。再度、これはこんにち私たちが言うところの絶望的貧困です。これについて考えてください。それ自体が、すでに倍増する彼らの苦悩に拍車をかけませんか？つまり、何という逆説でしょう。しかし、逆説的なのは、イエスがこう仰います。「あなたがたは世の基準では、迫害と苦難に苦しんでいます。貧困にあえいでいますけど、豊かです。」私が言いたいのはこうです。あなたも私も、信仰の逆説を受け入れるところに早く行けば行くほど良いのです。私たちの信仰は逆説的な信仰です。あなたは生きたいですか？それなら死になさい。上る道は下る道。わたしに従い、弟子の一人になりたいですか？それなら自分自身に死になさい。自分の人生を守りたいですか？あなたはそれを失うことになる。あなたが望むのは、、、人生を失う覚悟があるなら、それを保ちます。逆説的です。私たちはそれとも戦います。私たちには理解できません。それを受け入れるどころか。スミルナやこんにち迫害されているクリスチャンにこう言います。この礼拝かオンラインの方かもしれません。逆説的なのは分かります。このような苦難に見舞われ、絶望的な貧困に陥っていると思います。わたし（イエス）があなたの人生をどう見ているかというレンズを通して、あなたは自分の人生を見ていません。あなたは想像を超えるほど豊かです。何が興味深いかというと、ラオディキアの教会に行くと、失礼ですが、「ラオディキアの教会へ」そこはもう主の教会ではありませんでした。彼らは自分たちを豊かだと思い込んでいました。しかし、神は仰いました。あなたは貧しい。あなたは自分が全てで、当時彼らがそれで有名だった素晴らしい服を着ていると思っているけれど、あなたは裸です。逆説はどうでしたか？どちらにも作用します。4 つ目、これは難しいですね？キリスト側に立つとき、

4) 「あなたに敵対する中傷に耐える。」

この件に関して、ちょっとだけ話を戻します。これは、自分が誹謗中傷されること、すでに知っていることを前提にします。はい、クリスチャンは世間知らずで、それを信じます。あの、誹謗中傷や言いがかりを受ける側にはなりたくありません。しかし問題は、イエス・キリストと自分が一つだと認識するや否や、想像もしなかったような誹謗中傷を受けることになります。名誉の証です。実際、心配すべきは、誰もあなたを中傷したり迫害したりしない時です。あなたのクリスチャンとしての信仰と大胆さ、そして福音を伝えることを恥じない姿勢ゆえです。敵があなたを放っておく時、信じてください。大変な問題です。それは敵があなたを支配している時です。もちろん、サタンの悪霊で、サタンではありません。サタンは同時にすべての場所に存在することはできません。しかし、霊的な戦いが激しくなると、あなたはそうなった。しかし、それはいいことです。それは敵の怒りを買ったことを知るためのテストです。あなたは敵や闇の王国にとって手強い脅威だから。良い仕事を続けてください。あなたが誹謗中傷や迫害を受けたり、上記のようなことをされていないのなら、、、実際は逆です。ある日、郵便物を取りに行くと、サタンからあなたへのカードがあります。あなたはそれを開けると、ギフトカード、サンキューカードです。「ありがとう。これからも頑張るね。あなたは、、、今していることを続けてね。何にもしないことを。私に脅威はありません。くだらないことを説教し続けるだけで、問題ない。罪のことには絶対触れず、話さない。「救いのABC」をする必要は全くないよ。それは暗闇の王国から地を奪い、神の王国の地を作るからね。」

それが理由です。誰かとイエスを分かち合おうとすると、大混乱が起こります。会話でイエスの御名を口にするだけで、そうすることで、あらゆるものの様相が一変することをお気づきですか？ 特に、誰かが、フランス語が話せるようです。彼らはこう言うからです。「フランス語を許して下さい。」聞いてください。それはフランス語ではありません。しかし、イエスを議論に登場させると、すべてが変わります。そう、あなたは彼らと敵対関係になります。イエスゆえに。あなたがたは、なぜそれに驚くのですか？ それを予期し、それに耐える。この節は、、、ごめんなさい。もっと時間を割きたかったのですが、こんにち多くの問題を引き起こしているのは、この聖句です。ヨハネが書いているように、彼らはユダヤ人だと言っているが、そうではなく、彼らはサタンの会衆の者です。それでどう対処するのか？ どういう意味か？ イスラエルにいるユダヤ人で、自分はユダヤ人だと言っている人たちは、ユダヤ人ではなく、サタンの会衆者たちです。おお、なんてこと。誰かがサタンにメモを渡す必要があります。サタンは間違った人々を迫害しているからです。サタンはそんなに愚かなのですか？時の始まりから、サタンは常にユダヤ人を排除し、絶滅させようとしています。彼らがユダヤ人でないなら、人違いです。ですから、対象外です。それがヨハネが語っていることでは全くありません。悲しいことに、これが置換神学という誤った教えを導き、教会が神の選びの民となりユダヤ人と代わったと考えるもの。おめでとうございます。それをするとは、教会を7年の患難時代に入れることになります。また、それは神を嘘つきにしました。神はユダヤ人と永遠の契約を結んだと仰ったからです。ですから、神がユダヤ人を見限ったのなら、あなたがどれだけ安全なのか分かりません。神はあなたとも契約を結んでおられないですか？ 神が契約を破られたなら、嘘に違いありません。私たちに新しい契約があるなら、何と言えますか？ 神はまたその契約も破られるの？ あなたがどう切り刻んだとしても、人々に過激にならないでください。聞いてください。私は過激の博士号を持っています。若い頃、エネルギーがあった頃です。私たちはこれをします。この件で、一緒に遊びましょう。この件で、あなたと少しダンスします。OK。で、言っておきましょう。彼らはユダヤ人ではない。そして、私は聖書を彼らに見せます。「どうですか？あの件はどうしますか？」おお！「聖書からそれを切り取った方がいいです。それはあなたが言うことは、この聖句が語っていることと矛盾するからね。」「わかりました。牧師さん、ありがとうございます。それはそうは語っていない。じゃあ何を言っているのですか？」これは「カネオへの道ではない」という街の看板みたいです。その看板は役に立ちますか？ どういう意味なのか？ これを聞いてください。当時、ユダヤ人でない人々は、従わないことでの迫害を避けるために、自分はユダヤ人だと言いました。理由は、ユダヤ人は、ローマに受け入れられる宗教的免除がありました。そして、彼らは証明書を受け取りました。接種済/ワクチン証明書。ー (笑) ー

いえ、お付き合いください。本当です。この証明書は、当時、彼らには命令があり、事実上、その命令に従っていることを証明しました。(カエサルが主であると一つまみの香で告白する命令)それが必ずあなたがせねばならないこと。しかし、ユダヤ人には宗教的免除がありました。カエサルが主だと言うだけで、どんな神でも崇拝できる。ユダヤ人はこんな感じで、わかりました。私たちはユダヤ人だから免除されます。接種

済カードを見せ、ある時点で手の甲かどっかに、、、彼らは免除されました。彼らは本当のユダヤ人ではありませんでしたが、迫害から免れるためにユダヤ人だと言いました。あなたがこの1つまみの香を取り、「カエサルは主である」と言うことを拒否したら、試合終了だからです。ある解説者はこう説明します。「1世紀の終わり、ドミティアヌスの時代、(ドミティアヌスは最悪でした。)最終的な一歩が踏み出され、カエサル崇拝が義務化された。(命令です。)ローマ市民は年に一度、カエサルの神格を祭る祭壇に1つまみの香を焚かねばならなかった。宗教的義務を行なったことを保証する証明書を与えられた。クリスチャンがせねばならない全ては、1つまみの香を焚き、『カエサルは主です』と言い、証明書を受け取ること。従ってうまく付き合い、去ってから、自分たちの好きなように礼拝する。しかし、それが正にスミルナのクリスチャンたちが拒んだこと。(そのために彼らは迫害され、殉教しました。)彼らは誰にも主の御名を与えなかった。その御名は、イエス・キリストとイエス・キリストだけのために守られた。」

その重圧を想像できますか? 「さあ、たったの1つまみだよ。みんなしてるって。証明書をもらい、帰って、主を礼拝すればいい。」いいえ。いいえ。「あなたは迫害され、おそらく殉教します。」構いません。それが、5つ目です。

5) 「迫害と苦しみを恐れない。」

10節の前半、ここはもう一つの難しい箇所です。手紙全体が難しいですが、ここが難しいのは、私たちがどうやって恐れというデフォルトに陥りやすいかを如実に語るからです。私たちは恐れます。自分に正直になると、私たちは皆、決して恐れてはならないものを不必要に恐れていることを認めねばなりません。私たちがそれを恐れてはならない理由は、神は、最終的にそれが神の善の定義での私たちの益のため、さらに重要なことは、神のご栄光のためでない限り私たちが経験することを決してお許しにならないからです。これについてはすでに説明したので、簡潔にします。しかし、6つ目は単純に

6) 「それ(迫害)を予期すること。」

迫害や死をも予期する。携挙前に。それが私たちに不快にするのは分かりますが、しかし、患難前携挙に近付きつつあるこの終わりの時に、それはすでに起こっているとと言えます。近付けば近付くほど悪くなります。「聖書預言・アップデート」で、それについて話しました。ポリカルプという人について話したいのです。彼はスミルナ教会の牧師でした。使徒ヨハネ自身が、このポリカルプという名の人を弟子にしました。

「殉教者列伝」(原題: Fox Book of Martyrs)から紹介したいのです。図書館にあるはずですが、そうしないのは大変怠慢だと思うからです。この牧師の殉教について要約された証しです。こうです。「当時、スミルナのキリスト教徒に恐ろしい迫害が始まった。この牧師は、命を守るためにスミルナを去るよう促されたほどだった。ある日、彼が祈りの中で枕が燃えている幻を見て知ったのは、これは神が彼に語られた方法で、戻って兄弟たちにこう言う必要があること。『私は火あぶりにされねばならないのがわかる。』仲間の一人が逮捕され、ポリカルプの居場所を明かすまで拷問を受けた。ポリカルプを逮捕するために到着すると、彼らはすぐに説得を始めた。1つまみの香を捧げ、『カエサルは主である』と告白するよう懇願した。ポリカルプが拒否すると、彼は火あぶりにされるために闘技場に連れて行かれた。そこでポリカルプと他のクリスチャンたちはこんな天からの声を聞いた。『ポリカルプよ、強くあれ。男らしく振る舞え。』それから、彼らは、彼に主イエスを放棄する最後のチャンスを与えた。ポリカルプは彼らを見て、手を振ってこう言った。

『86年間、私はイエスに仕えてきた。私の王を辱めるとは何事か?』彼らは生きたまま彼を焼くために火を用意した。ポリカルプは彼らに言った。『よろしい。私は一時燃えて、しばらくすると消えてしまう火を恐れない。なぜ遅らせるのか? あなたがたは私を火で脅すが、その火は1時間の間燃え続け、しばらくすると消えてなくなる。しかし、あなたがたは、これから来るさばきの火も、悪人や不敬虔な者のために用意されている永遠の刑罰も知らない。しかし、なぜこんなに遅らせるのか? どんな死でも与えよ。さあ、あなたがたの意志を行え。』

それで、彼らは行った。そのとき、この牧師はこう祈った。(彼の祈りは、、、)

『主よ、この日この時、恵み深く私をふさわしくしてくださったことを感謝します。私は殉教者の数の中に数えられ、また、あなたのキリストの杯に与れます。』彼が祈った後、火がつけられたが、炎は彼に触れな

った。ご想像通り、彼の処刑人たちは激怒し、そのうちの1人がポリカルブを何度も刺した。すぐに彼の血が流れ出し、最終的に火を消した。その時、目撃者は煙の中から鳩が天に飛び立つのを見たと言う。まさにその時、ローマの教会の指導者イレヌスは、神がこう仰ったのを聞いた。

『ポリカルブは死んだ。神はそのしもべを家に召された。』わお！ 私たちは何度もポリカルブのような人々を考えます。もし私たちがそのような状況にあつたら、、、主が私に与えてくださった私の心を落ち着かせる言葉を分かち合いたいのです。もし私がこの立場になったら、、、ちなみに、それはあり得ないことではありません。神はその瞬間、神だけがおできになるように、超自然的に、立ち上がり耐え、殉教する御力をあなたに与えてくださいます。私は間違いにも、自分自身をポリカルブと比較すると、もし私が火あぶりになり祈るなら、「神よ、私の命をお救いください。」と祈ると思います。ポリカルブは違います。

「私の命が、殉教した人々の中に数えられるに値するとみなされたことを感謝します。」です。お伝えします。これが、、、これはエステルを思い起こさせます。エステルはこう言いました。

「私は、死ななければならないのでしたら死にます。」(エステル 4 : 16 参照)

「ダニエル書」のシャデラク、メシャク、アベデ・ネゴはいかがですか？「聞いてください。ネブカドネツアルよ、神が私たちを救ってくださいます。しかし、神がそうなさらなくても、私たちは決してひれ伏して、あなたが作ったこの像を拝みません。死ぬなら、死にます。私は肉体を滅ぼせる者を恐れませんが、私は、肉体も魂も滅ぼされる神を恐れます。」

締めくくります。まず自分自身を取り戻します。これは言葉遊びではありません。わかってください。同様にこれは忘れてはならないことです。私たちは忘れるからです。

7) 「二度生まれるなら、死は一度だけ。」

再度、これが理由です。独特なこの特定の教会に合わせて、イエスが仰るのは、死と永遠のいのちについてです。イエスはこの特定の教会にこう仰います。第二の死によって、あなたはまったく影響を受けることはなく、害を受けることもありません。第二の死とは何ですか？ 人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている。(ヘブル 9 : 27)

あなたは裁かれ、永遠に地獄での死を宣告されます。それが第二の死です。しかし、もしあなたが新生/生まれ変わるなら、肉体的に一度生まれ、霊的に二度生まれます。死ぬのは一度だけです。一度も死なないかもしれない。理由は、ラッパが鳴れば、あなたは死を見ません。生き残っている人たちの中に入るからです。なんて素晴らしいでしょう？ 主よ、ただそれだけの理由で、私は弱虫だからです。子供の頃、死にたくないと思ったのを覚えています。私はまだ主を知りませんでした。もし死んでも、痛くないことを願います。全て早くしてほしい。皆さん、そんなことを考えたことがありますか？ そのように考えたことはありますか？ 死は、人々が一番恐れていることです。キリストのもとに辿り着いて、突然、ちょっと待って、死は今や、私の友達だと考えます。パウロが悩んだことを覚えていますか？「あなたがた、私は本当に葛藤しています。あなたがたを愛しています。でも、私が望むのは、私が去って主と共にいることです。肉体を離れることは、主と共にいることだから。私がまだここにいるのは、あなたたちのせいです。あなたたちが私を必要とするのを知っていますから、私はまだここにいるんです。しかし、私が死んだ時、主のみもとに行くのを知っています。ですから、私が家に帰れるように、みんな一緒に行動を共にしませんか？」

(笑) — (II コリント 5章参照) 説教を締めくくるのにこれ以上の方法はないと思います。死の文脈において永遠のいのちについての話しです。留意ください。栄光において、もう死はありません。決して神のご計画ではあられませんでした。本来、罪がこの世に入る前、死は、、、そう、死は罪と共に入りました。罪の報酬は死だからです。(ローマ 6 : 23 参照)

しかし、神は、、、私たちが永遠に生きられるように死んでくださいました。二度目の死：あなたは心配いりません。あなたは新生/生まれ変わり、二度生まれました。「ヘブル人への手紙」には、

「人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている」(ヘブル 9 : 27 参照)

しかし、「第一テサロニ人への手紙」4章にはこうあります。あたたはその必要はないかもしれない。この裁

きの御座は、、、冠について話しましたね。

最後の1つ。最後にひとつだけいいですか？ おお、これは「聖書預言・アップデート」でしたけど、私たちは朽ちる冠のためにレースを走ります。初代オリンピックではそうでした。彼らが獲得したのは、首には金メダルをかける代わりに、優勝者には頭の上に葉っぱの冠を置きました。葉っぱの冠がもつのは、2～3日くらいですね。長く保てない朽ち果てる冠のために彼らは自らを訓練し律します。しかし、私たちは永遠に朽ちない冠のためです。今日、私はそれについて考えていました。キリストの裁きの座、大きな白い御座の裁きがあります。これ以上、互いに正反対なことはありません。ですから、オリンピックでは、審判の席があります。審査委員会、賞を授与する審査員たち、金賞、銀賞、銅賞、、、銅賞ですか？はい。それが私たちの目指すことです。私たちは白い大なる御座の裁きには行きません。それは第二の死で永遠に罰せられるところです。私たちは裁きの座に行きます。それが私たちが行くところで、朽ちる葉っぱの冠ではありません。しかし、私たちはここでの人生に基づいて、冠や賞、富や宝を手に入れることとなります。OK。おしまいです。また大変長くなり、ごめんなさい。

カポノ、上がってきてください。ご起立ください。祈りと賛美で締めくくります。皆さんの優しさに感謝します。皆さんは大変親切です。短い手紙。非常に長い説教。

お父様、ありがとうございます。これは厳しいですが、良い学びでした。主よ、非常に必要です。特にこんにち私たちが生きている時代に、世で起きているすべてのことと共に、ユダヤ人であれ、クリスチャンであれ、あなたに関係する人々への敵意が高まっています。主よ、苦難や砕かれるような苦悩を経験している人たちのために祈ります。主よ、彼らがそこから出れるように祈ります。あなただけがおできになるように、あなたが乗り越えさせてくださることを信じて。彼らの心を励ましてください。迫害を祝福と良いこととして見る者の中に数えられますように。迫害され、悪口を言われても、私たちは祝福されることを知っています。私たちはあなたとともにあり、あなたによって救われたからです。主よ、ポリカルプのように、私たちはそれを光栄だと思えます。イエスよ、ありがとうございます。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリー・カネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7